

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 絵画演習 I (英文名) Painting Exercise I				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 上野 高 (ローマ字) UENO Takashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	前期の9月日程にて、合計4日間の授 業を行う		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	鉛筆デッサン, 観察力, 描写力, 彩色, 画材研究				
21. 授業概要	<p>◆日程 (全4日間) 場所 鳴門教育大学D棟501A・野外実習</p> <p>第一日 2限10:40~5限17:50 第1回~第4回</p> <p>第二日 2限10:40~5限17:50 第5回~第8回</p> <p>第三日 2限10:40~5限17:50 第9回~第12回</p> <p>第四日 2限10:40~4限16:10 第13回~第15回</p> <p>・絵画制作の基礎として、観察した情報を視覚的に表現するための造形力・Composition(構図)を養う。</p> <p>・鉛筆デッサンを通して、質感、構造、光や空間を表現する。</p> <p>・画材研究と特性を理解し、彩色表現についての向上を目指す。</p> <p>・絵画教材研究として、描画用木炭を製作し、素材研究を行う。</p>				



22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	<p>絵画制作の基礎的技能と知識の習得にあわせて、モチーフとの対話を通じた表現の喜びを認識することを目的とする。実技制作を通して、観察した情報を基に描写表現する造形力を養う。</p>	<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	<p>絵画の基礎となる実践課題を通して技能の向上を図るとともに、画材研究から技能と知識を修得する。対象を描画するための観察力及び構成力を習得し、描画技術と指導法について理解を深める。</p>	<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>授業計画</p> <p>第1回 授業概説, 課題・画材説明</p> <p>第2回 絵画教材研究:木炭制作(1)</p> <p>第3回 絵画教材研究:木炭制作(2)</p> <p>第4回 野外スケッチ(1) 講評と鑑賞</p> <p>第5回 人物クロッキー(1)</p> <p>第6回 人物クロッキー(2)</p> <p>第7回 野外スケッチ(2)</p> <p>第8回 野外スケッチ(3) 講評と鑑賞</p> <p>第9回 静物制作(1)</p> <p>第10回 静物制作(2)</p> <p>第11回 静物制作(3)</p> <p>第12回 静物制作(4) 講評と鑑賞</p> <p>第13回 静物制作(5)</p> <p>第14回 静物制作(6)</p> <p>第15回 静物制作(7) 講評と鑑賞</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技制作課題では、時間が限られているため技術や知識の上達には授業時間外での自主制作や情報収集が必要となる。 ・日常的にスケッチブックや、クロッキー帳等(携帯しやすいサイズのもの)を持ち歩き、スケッチや、アイディアを描き止め自主研究を行う。 	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>制作に対する積極性・取り組み(40%)、制作課題(60%)を基準とする。</p> <p>集中講義につき短期間で段階的に学習を進めるため、全日程への出席を基本とする。止むを得ず欠席をする場合は、制作の進行に影響が出る可能性があるため留意すること。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	再試験は行わない。	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:なし</p> <p>香川大学 名・徳島大学 名・鳴門教育大学 名・高知大学 名・愛媛大学 名</p> <p>※制限ありの場合、10名以上で設定</p>	<input type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>◆本授業は集中講義形式で実施されるため、連続したスケジュールとなります。欠席を避け、万全な体調管理に留意して臨むこと。</p> <p>◆天候や進行状況により、シラバスに記載された授業の順序や内容を一部変更する場合があります。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html</p>			<input type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	不要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし 教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け			<input type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	未定		<input type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	未定		<input type="checkbox"/>																																																			
40. 教員の実務経験について	該当せず			<input type="checkbox"/>																																																			

41. バリアフリー対応	非対応	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	<ul style="list-style-type: none"> ◆持ち物 ※制作に必要な画材は、受講生が用意すること。 ・デッサン道具(鉛筆4B～F、H・練り消し・ガーゼ・カッター等) ・水彩道具一式 ※連携大学の学生については、貸し出し可。 ・F6スケッチブックを準備すること。 ・野外での木炭制作は、煙臭や炭汚れが付着するため、汚れてもよい服装を別途用意し参加すること。 ・野外での寒暖差や日差しを想定し、帽子や防寒着などの適切な服装を準備すること。 	<input checked="" type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 絵画演習Ⅱ (英文名) Painting Exercise II				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 古草 敦史 (ローマ字) FURUKUSA Atsushi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	12～1月の2週に渡る土、日		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)色彩研究, (2)形態研究, (3)構想画 (1)Color Study, (2)Form Study, (3)Conceptual Image				
21. 授業概要	水性絵の具と紙を用いて多様な表現を実験的に試みるなかで、自己の志向性を検討し絵画の可能性を研究するための演習を行う。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	絵画制作におけるテーマの設定、モチーフの選択を通して多様な表現の探究を行い、画材の特性を生かし、発展的に用いることや自己のテーマとして感性豊かな絵画表現を目指すことができるようにする。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	テーマ設定とモチーフの選択を自己の有用な課題として行うことができる。 自身の作品を批判的に評価し、今後の制作に生かす姿勢をもつことができる。				<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 色彩研究①テーマ・画材設定, 制作</p> <p>第2回 色彩研究②制作・受講生相互のディスカッション</p> <p>第3回 各自モチーフの形態研究①テーマ・画材の設定, 制作</p> <p>第4回 各自モチーフの形態研究②制作</p> <p>第5回 各自モチーフの形態研究③制作・受講生相互のディスカッション</p> <p>第6回 構想画制作Ⅰ「自然」をテーマとして①画材設定, 制作</p> <p>第7回 構想画制作Ⅰ「自然」をテーマとして②制作</p> <p>第8回 構想画制作Ⅰ「自然」をテーマとして③制作・受講生相互のディスカッション</p> <p>第9回 構想画制作Ⅱ「様々な事柄の状態」をテーマとして①画材設定, 制作</p> <p>第10回 構想画制作Ⅱ「様々な事柄の状態」をテーマとして②制作</p> <p>第11回 構想画制作Ⅱ「様々な事柄の状態」をテーマとして制作・受講生相互のディスカッション</p> <p>第12回 構想画制作Ⅱ「様々な表現方法」をテーマとして(映像・メディア表現を含む)①画材設定, 制作</p> <p>第13回 構想画制作Ⅱ「様々な表現方法」をテーマとして(映像・メディア表現を含む)②制作</p> <p>第14回 構想画制作Ⅱ「様々な表現方法」をテーマとして(映像・メディア表現を含む)③制作・受講生相互のディスカッション</p> <p>第15回 全体講評・まとめ</p>				☑																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>近代から現代の絵画作品の鑑賞によって, 画面構成の方法やものの見方, 材料の用い方を研究する。特に現代の作家の制作に関わる思考内容を積極的に知る姿勢をもつようにする。</p>				☐																	
28. 成績評価の方法と基準	<p>課題毎の作品内容(70%)および受講生相互のディスカッションにおける姿勢(30%)によって総合的に評価する。</p>				☑																	
29. 再試験の有無	<p>再試験は行わない。</p>				☐																	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学0名・徳島大学2名・鳴門教育大学4名・</p>				☑																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>課題毎に課される作品は受講期間内(開講時に通知する)内に提出すること。</p>				☑																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 15%;">書名</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名	なし			ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
教科書1	書名	なし																				
	ISBN		著者名																			
	出版社		出版年																			
	金額		備考																			

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	なし			□
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	なし				□	
35. パソコン必要度	必要なし	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		□	
37. 教員相互参観授業公開日程					□	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	なし			□	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)に問い合わせること。			□	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	なし			□	
	連携大学 学生向け	メール	usa.atsushi@kagawa-u.ac.jp		□	
40. 教員の実務経験について	該当せず				□	
41. バリアフリー対応	非対応				□	
42. その他／備考	なし				□	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 絵画ⅡA				
	(英文名) PaintingⅡA				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし				
	(英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 古草敦史				
	(ローマ字) FURUKUSA Atsushi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	金曜日・4時限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)デッサン, (2)色彩研究, (3)マチエール研究 (1)Drawing, (2)Color Study, (3)Matiere Study				
21. 授業概要	学校現場で美術を教える際に必要となるデッサン、油彩画(場合によっては水性画材)の制作を行い、 デッサン、彩画の可能性を追求する。また、生涯活動における絵画表現の可能性を探求することとする。 課題による構想画では、30号以上程度の制作を行う。学生それぞれがモチーフを探して画面を構成さ せるなかで、制作と並行して各自でさまざまな画家を調べ、それらの表現、技法を学ぶ。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	自己の興味のあるところを見つけ、探し出したモチーフと古今の画家の作品研究によって充実した画面 構成を追求する。 デッサン力(形、形態感、質感、空間感、構合力などの追求)の強化を図るとともに発展的な画材の用い 方を追求し、高度な絵画表現の技術の習得を目指す。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	①油絵具、筆、ナイフ、溶き油を工夫して用いることができる。(DPの「知識・理解／広範な人文・社会・ 自然に関する知識」、「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)				☐

	<p>②デッサン力の強化を図るとともに発展的な絵画表現を目指す姿勢をもつことができる。(DPの「知識・理解／広範な人文・社会・自然に関する知識」、「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)</p> <p>③自身の作品について批判的に評価することができる。(DPの「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」、「教職に対する使命感」に対応)</p>	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 構想エスキース①(エスキース制作・モチーフと構想の研究)</p> <p>第3回 構想エスキース②(エスキース制作・モチーフと構想の応用的な研究)</p> <p>第4回 構想エスキース③(エスキース制作・モチーフと構想の発展的な研究)</p> <p>第5回 構想エスキース④(エスキースについて受講生相互のディスカッション)</p> <p>第6回 油彩構想画①(下絵制作・デッサンの研究)</p> <p>第7回 油彩構想画②(下絵制作・デッサンの応用的な研究)</p> <p>第8回 油彩構想画③(本制作・色彩, マチエールの研究)</p> <p>第9回 油彩構想画④(本制作・色彩, マチエールの応用的な研究)</p> <p>第10回 油彩構想画⑤(本制作・色彩, マチエールの発展的な研究)</p> <p>第11回 油彩構想画⑥(本制作・総合的な要素の検討)</p> <p>第12回 油彩構想画⑦(本制作・総合的な要素の応用としての検討)</p> <p>第13回 油彩構想画⑧(本制作・総合的な要素の発展としての検討)</p> <p>第14回 油彩構想画⑨(本制作・総合的な要素の展開としての検討)</p> <p>第15回 油彩構想画⑩(講評会)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>第2～15回 さまざまな絵画作品の鑑賞によって、画面構成の方法やものの見方、材料の用い方を研究する。</p> <p>日常から小さなスケッチブックと鉛筆等で風景等を描いたり、また、どのような材料でもよいから、らくがきのにも描く習慣をもつ。</p>	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>受講姿勢(50%)および制作作品(50%)により評価する。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	<p>再試験は行わない。</p>	<input type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学6名・徳島大学2名・鳴門教育大学4名</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>基本的な画材は各自で用意が必要。授業時間外でも時間を作って積極的に制作を行う。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	なし			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	なし			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要なし	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 毎週火曜日12:00~13:30(2号館3階) または、電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	高等学校美術科、専門学校等に非常勤講師および特別講師として勤務。美術・芸術の授業を担当。高等学校等での実務経験をもとに絵画実技について指導を行う。				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 絵画ⅡB				
	(英文名) PaintingⅡB				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし				
	(英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 古草敦史				
	(ローマ字) FURUKUSA Atsushi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	金曜日・4時限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)デッサン, (2)色彩研究, (3)マチエール研究 (1)Drawing, (2)Color Study, (3)Matiere Study				
21. 授業概要	各自テーマ課題では、50号の制作を行う。学生それぞれが課題を意識しながらモチーフを探して画面を構成させるなかで、制作と並行して各自がさまざまな画家たちの作品を調べ、それらの表現、技法を学び、将来学校での美術を教える際に必要となるデッサン、油彩画制作の実技力の向上を図る。また、生涯活動として各自の絵画表現の可能性を探求することとする。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	自己の内面を探る主観性とそれを支える客観性を大事にしながら、古今の画家の作品研究によって充実した画面構成を追求する。 ここにおいても、デッサン力(形、形態感、質感、空間感、構成力などの追求)の強化とともに発展的な画材の使い方を習得する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	①油絵具、筆、ナイフ、溶き油を発展的に用いることができる。(DPの「知識・理解／広範な人文・社会・自然に関する知識」、「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応) ②デッサン力、技術の修練は当然ながら、自己のテーマによって感性豊かな絵画表現を目指す姿勢を				<input type="checkbox"/>

	<p>もつことができる。(DPの「知識・理解／広範な人文・社会・自然に関する知識」、「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)</p> <p>③自身の作品について批判的に評価することができる。(DPの「問題解決・課題探求能力／21世紀社会の諸課題に対する探求能力」、「教職に対する使命感」に対応)</p>	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 構想エスキース①(エスキース制作・構図の研究)</p> <p>第3回 構想エスキース②(エスキース制作・構図の応用的な研究)</p> <p>第4回 構想エスキース③(エスキース制作・構図の発展的な研究)</p> <p>第5回 構想エスキース④(エスキースについて受講生相互のディスカッション)</p> <p>第6回 油彩構想画①(下絵制作・デッサンの研究)</p> <p>第7回 油彩構想画②(下絵制作・デッサンの応用的な研究)</p> <p>第8回 油彩構想画③(下絵制作・デッサンの発展的な研究)</p> <p>第9回 油彩構想画④(本制作・色彩, マチエールの研究)</p> <p>第10回 油彩構想画⑤(本制作・色彩, マチエールの応用的な研究)</p> <p>第11回 油彩構想画⑥(本制作・色彩, マチエールの発展的な研究)</p> <p>第12回 油彩構想画⑦(本制作・総合的な要素の研究)</p> <p>第13回 油彩構想画⑧(本制作・総合的な要素の発展としての検討)</p> <p>第14回 油彩構想画⑨(本制作・総合的な要素の展開としての検討)</p> <p>第15回 油彩構想画⑩(講評会)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>第2～15回 ささまざまな絵画作品の鑑賞によって、画面構成の方法やものの見方、材料の用い方の研究をする。</p> <p>日常から小さなスケッチブックと鉛筆等で風景等を描いたり、また、どのような材料でもよいから、らくがきのくでも描く習慣をもつこと。</p>	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>受講姿勢(50%)および制作作品(50%)により評価する。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	<p>再試験は行わない。</p>	<input type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学6名・徳島大学2名・鳴門教育大学4名</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>基本的な画材は各自で用意が必要。授業時間外でも時間を作って積極的に制作を行う。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	なし			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	なし			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名	なし			
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要なし	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 毎週火曜日12:00~13:30(2号館3階) または、電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	furukusa.atsushi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	高等学校美術科、専門学校等に非常勤講師および特別講師として勤務。美術・芸術の授業を担当。高等学校等での実務経験をもとに絵画実技(油彩画制作)について指導を行う。				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 彫刻特別演習 (英文名) Sculpture Practice				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)武内優記 (ローマ字)TAKEUCHI Yuki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	月曜・5限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	彫刻Ⅱ(05221200)
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)彫刻 (2)インスタレーション (3)環境 (1)Sculpture (2)Installation (3)Environment				
21. 授業概要	彫刻等の立体表現の中でも、様々な要素を統合し、空間を含めて作品とする「インスタレーション」が、人々の体験に焦点を当てる芸術の方法論として用いられている。本授業では、特定の場を想定した模型によるインスタレーションの模型制作を行い、構成力や発想力の進展を図る。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	場や空間、環境を前提に、自らのリアルな表現を模索する中で価値創造力を養う。なお、授業後半では、完成した作品を展示する。この展示実習では、作品展示の基礎を学修するとともに、プレゼンテーション能力の伸展を図る。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	授業の到達目標 ・素材の選択から加工、仕上げまで計画的な制作ができる。 ・コンセプトと表現について、自分なりの整理ができる。 ・習得した知識や技能を、作品制作や様々な学びの場へ生かすことができる。				<input checked="" type="checkbox"/>

	<p>学修課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インストールの特性を理解し、発想や構想の能力の向上を図る。 ・自分なりのリアルな感覚で表現の可能性を探求する。 ・制作をとおして学んだことを省察し、レポートにまとめる。 	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回: 授業概説(彫刻及びインストールについて)</p> <p>第2回: アイデアスケッチ①(観察)</p> <p>第3回: アイデアスケッチ②(ドローイング)</p> <p>第4回: アイデアスケッチ③(コンセプトノート)</p> <p>第5回: 模型制作①(製材)</p> <p>第6回: 模型制作②(組立)</p> <p>第7回: 模型制作③(加工・構成)</p> <p>第8回: 模型制作④(構成・着色)</p> <p>第9回: 中間講評, プレゼンテーション</p> <p>第10回: インストール①(造形)</p> <p>第11回: インストール②(組立)</p> <p>第12回: インストール③(配置)</p> <p>第13回: インストール④(構成)</p> <p>第14回: インストール⑤(仕上げ・記録)</p> <p>第15回: 講評会, かた付け(レポート, 作品写真提出)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>作品制作に関わる学習</p> <p>事前学習…3時間, 事後学習…10時間</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品制作では、普段の生活での気づきが、表現に示唆を与えてくれることがあります。様々な物事への興味関心を持ち、制作のヒントになりそうなことやアイデアをメモやスケッチしておくこと。(事前学習) ・授業時間以外も積極的に制作に取り組むこと(事後学習) 	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>制作態度や意欲・研究心(30%), 作品(50%), 作品プレゼン・レポート(20%)を総合的に評価します。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	<p>再試験は行わない。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: なし</p> <p>香川大学_名・徳島大学_名・鳴門教育大学_名・高知大学_名・愛媛大学_名</p> <p>※制限ありの場合、10名以上で設定</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチブック, 描画材を準備すること。 ・材料, 道具の一部は履修者が購入する。 ・授業時間以外に各自の自主制作を要する。 ・汚れてもよい服装でのぞむこと。 			☑																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html			☐																																																			
35. パソコン必要度	不要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	☐																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				☐																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 月曜12:30~12:55。または, Eメール(yutakeuchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。		☑																																																			
	連携大学 学生向け	Eメール(yutakeuchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。		☑																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	E-mail: yutakeuchi@naruto-u.ac.jp		☑																																																			
	連携大学 学生向け	E-mail: yutakeuchi@naruto-u.ac.jp		☑																																																			
40. 教員の実務経験について	該当せず			☐																																																			

41. バリアフリー対応	非対応	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし	<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期集中講義(8月下旬予定)	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 工芸演習 (英文名) Craft Practice				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 栗原 慶 (ローマ字) KURIHARA Kei				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	集中講義(8月下旬・休日挟み計4日)		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)素材(2)技術(3)造形(4)機能性(5)焼成 (1) Material (2) Technique (3) Modeling (4) Functionality (5) Firing				
21. 授業概要	工芸分野は、自らの身体性を持って素材にアプローチしていくことが重要であるため、対面授業による陶芸・木工制作を行う。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	工芸は生活に根ざした芸術ともいえ、その表現には自然や他者を尊重し対話をしていく姿勢が求められる。工芸観を養うことや工芸制作の技能習得は、素材に対して様々なアプローチを繰り返すことによって達成することができる。このことは、主体的に生きることや文化の創造、豊かな個性を育むことにもつながっていくものと考えられる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	①陶芸(楽焼)に関する知識と技術を習得する②小刀の扱いを習得する③工芸の造形要素と意義を説明できる				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回(1日目): 授業説明</p> <p>第2回(1日目): 土練り・玉作り(陶芸)</p> <p>第3回(1日目): 茶碗制作(陶芸)</p> <hr/> <p>第4回(2日目): 茶碗制作(陶芸)</p> <p>第5回(2日目): 板作り(陶芸)</p> <p>第6回(2日目): 素焼窯詰め</p> <p>第7回(2日目): カトラリー制作(木工)</p> <hr/> <p>休日を挟む</p> <hr/> <p>第8回(3日目): カトラリー制作(木工)</p> <p>第9回(3日目): カトラリー制作(木工)</p> <p>第10回(3日目): カトラリー制作(木工)</p> <p>第11回(3日目): カトラリー制作(木工)</p> <hr/> <p>第12回(4日目): 釉薬調合・釉薬掛け</p> <p>第13回(4日目): 楽窯作り(耐火煉瓦で築窯)</p> <p>第14回(4日目): 焼成</p> <p>第15回(4日目): 工芸概説と講評</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>工芸についての調べ学習や、参考図書等での学習をお勧めします。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	授業での習得度(40%)、学習成果物(60%)	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	なし	<input type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: あり</p> <p>香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名</p> <p>※制限ありの場合、10名以上で設定</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>教室・設備の都合上、履修者多数の場合はスケジュールの変更や材料費が生じる場合があります。</p> <p>焼成作品は後日着払い発送します。</p> <p>1日のうちに複数コマを設定した集中講義なので、欠席した時点で単位を出せなくなる可能性があります。</p> <p>Moodleを随時確認してください。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

	爪は短く切り、作業が行いやすい服装で受講してください。					
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名		<input type="checkbox"/>		
		ISBN	著者名			
		出版社	出版年			
		金額	備考			
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	図画工作・基礎造形-美術教育の内容-		<input checked="" type="checkbox"/>	
		ISBN	4767950430	著者名		辻泰秀編 栗原慶ほか著
		出版社	建帛社	出版年		2016
		金額	¥2.750	備考		
	参考書2	書名	はじめての楽焼陶芸			
		ISBN	4416804342	著者名		野田耕一
		出版社	誠文堂新光社	出版年		2004
		金額	¥2.090	備考		
	参考書3	書名	伝統工芸ってなに？			
		ISBN	475380271X	著者名		日本工芸会東日本支部編
		出版社	芸艸堂	出版年		2013
		金額	¥1.760	備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html			<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(kkurihara@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(kkurihara@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。		<input checked="" type="checkbox"/>		
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kkurihara@naruto-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	kkurihara@naruto-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>		
40. 教員の実務経験について	該当せず			<input type="checkbox"/>		

41. バリアフリー対応	非対応	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし	<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期集中	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	徳島大学総合科学部		4. 授業形態／授業種 別	対面, 双方向遠隔授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分/ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)先端芸術表現論 (英文名) Intermedia Art				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)佐原 理 (ローマ字)SAHARA Osamu				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	集中		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	アニメーション, コンテンポラリーアート, アニメーション表現, 身体				
21. 授業概要	我が国の美術教育の中心的価値である創造性や感性に根ざした教育という枠組みから、ポストヒュー マニズム社会におけるAIなどのテクノロジーが社会の中でどのように位置付けられるのか、最先端芸術 の視点から我々の社会の持続可能性や諸侯の課題を探求する。最先端芸術表現がいかに教育的視 点からより批判的な知識や地域社会を豊かにする手段となり得るのか、美術・教育の観点から先端芸 術を掘り下げる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	問い:「最先端芸術はいかにして教育的観点から豊かな社会を探求する手段となるのか？」 目標:履修者は上記のテーマに対して表現プロセスのデザインを通して自らの答えを導きだすことを目 標とする。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	履修者は上記のテーマに対して表現プロセスのデザインを通して自らの答えを導きだすことができる。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)	
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)	
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回: イントロダクション: GlobalMediaArts 21世紀のメディア表現と美術教育</p> <p>第2回: 現代美術: 先端芸術は何をみるのか? 未来と芸術</p> <p>第3回: 現代美術: 先端芸術と教育—多様性と持続可能性を模索する現場</p> <p>第4回: 先端芸術表現の通時的変遷</p> <p>第5回: 映像ってなんですか?: 映像の発見で社会はどうか変わった?</p> <p>第6回: 映像と認知の関係: 身体への眼差し: 生命をみつめる・生命を与える</p> <p>第7回: 映像教育の現場から: 映像メディアによる教育は何ができるのか?</p> <p>第8回: 映像メディア表現を实践する—映像: アニメーションと身体</p> <p>第9回: 映像メディア表現を实践する—映像とテクノロジー</p> <p>第10回: 映像メディア表現を实践する—映像表現と映像による表現</p> <p>第11回: 映像メディア表現を实践する—映像とメディアの先端</p> <p>第12回: 映像メディア表現を实践する—美術教育と先端表現</p> <p>第13回: 美的世界への眼差し: 美的表現としてのアニメーションデザイン</p> <p>第14回: 社会を捉える眼差し: ドキュメンタリーとしてのアニメーションデザイン</p> <p>第15回: 振り返り: 作品制作とレポート提出</p>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>なし</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>なし</p>
28. 成績評価の方法と基準	<p>学習成果物(40%), レポート(60%)</p>
29. 再試験の有無	<p>なし</p>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: なし</p> <p>香川大学_名・徳島大学_名・鳴門教育大学_名・高知大学_名・愛媛大学_名</p> <p>※制限ありの場合、10名以上で設定</p>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本科目は東京藝術大学よりゲスト講師を招聘し、アニメーション制作の技法やその背景にあるロジックを学びます。また、現代美術がどのように進展し我々は今アートを通して何を成し遂げようとしているのか、それを考える機会になればと思います。隔年開講科目です(2026年度開講)。</p>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 163 520 360">教科書1</td> <td data-bbox="520 163 679 208">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="679 163 1412 208"></td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="520 208 679 253">I S B N</td> <td data-bbox="679 208 951 253"></td> <td data-bbox="951 208 1110 253">著者名</td> <td data-bbox="1110 208 1412 253"></td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="520 253 679 297">出版社</td> <td data-bbox="679 253 951 297"></td> <td data-bbox="951 253 1110 297">出版年</td> <td data-bbox="1110 253 1412 297"></td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="520 297 679 360">金額</td> <td data-bbox="679 297 951 360"></td> <td data-bbox="951 297 1110 360">備考</td> <td data-bbox="1110 297 1412 360"></td> </tr> </table>			教科書1	書名					I S B N		著者名			出版社		出版年			金額		備考		☑
教科書1	書名																							
	I S B N		著者名																					
	出版社		出版年																					
	金額		備考																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 409 520 607">参考書1</td> <td data-bbox="520 409 679 454">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="679 409 1412 454">未来と芸術 Future and the Arts</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="520 454 679 499">I S B N</td> <td data-bbox="679 454 951 499"></td> <td data-bbox="951 454 1110 499">著者名</td> <td data-bbox="1110 454 1412 499">森美術館</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="520 499 679 544">出版社</td> <td data-bbox="679 499 951 544">美術出版社</td> <td data-bbox="951 499 1110 544">出版年</td> <td data-bbox="1110 499 1412 544"></td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="520 544 679 607">金額</td> <td data-bbox="679 544 951 607"></td> <td data-bbox="951 544 1110 607">備考</td> <td data-bbox="1110 544 1412 607"></td> </tr> </table>			参考書1	書名	未来と芸術 Future and the Arts				I S B N		著者名	森美術館		出版社	美術出版社	出版年			金額		備考		☑
参考書1	書名	未来と芸術 Future and the Arts																						
	I S B N		著者名	森美術館																				
	出版社	美術出版社	出版年																					
	金額		備考																					
34. Webテキスト(URL・説明)	<p data-bbox="368 723 1412 757">四国5国立大学による連携教職課程ホームページ</p> <p data-bbox="368 768 1412 801">https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html</p>			☑																				
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職	☑																				
37. 教員相互参観授業公開日程				☑																				
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オンラインオフィスアワーを受け付ける		☑																				
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) オンラインオフィスアワーを受け付ける		☑																				
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp		☑																				
	連携大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp		☑																				
40. 教員の実務経験について	なし			☑																				
41. バリアフリー対応	なし			☑																				
42. その他／備考	なし			☑																				

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	双方向型遠隔	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)美術理論・美術史 (英文名)Theory and History of Art				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 小川 勝 (ローマ字) OGAWA Masaru				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	火曜日5限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	美術史、近代				
21. 授業概要	過去に人間によって制作された美術作品の歴史的背景、社会的背景を前提とした、総合的理解を図る				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	過去に制作されて現在まで存在しつづけている美術作品の芸術的本質を理解することが授業の目的である。そのため、それ自体歴史的存在である美術作品が、どのような時代のいかなる社会で制作されたかを検討する。その上で、一般の歴史とは異なる論理で展開する美術の流れの中にそれぞれの作品を位置づける。本講義では、主に西洋の作品に限定して考察し、さらに時間的制約のために、先史時代から現代に至る時代の中から特定の時期にしぼって作品を見てゆくことにする。その上で、西洋以外の作品を見るため、同時代の日本及びアジアの作品がどのようなものであったかについても、その代表的な作例を通じて考察する。今年度は「近代」を取りあげる。				<input checked="" type="checkbox"/>

23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を理解する上で、作者名や作品タイトルなどの知識に左右されることなく、まずは自分の目で、作品それ自体を見ることができるか。 ・作品を記述するにあたって、借り物ではない自分自身のことばで表現できるか。 ・作品をより深く理解するために、制作の時代背景や社会的位置づけなどを自ら調べる姿勢を身につける。 ・教材として取り上げた時に、児童生徒のあらゆる発言に対応できるように、教材作品を熟視し、自信を持って、授業を展開できるようにするのが望ましい。 	☑
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>はじめに：経験としての美術</p> <p>第2回 近代以前・ゴヤなど</p> <p>第3回 ジェリコーなど</p> <p>第4回 ドラクロワなど</p> <p>第5回 フリードリッヒなど</p> <p>第6回 ターナーなど</p> <p>第7回 コンスタブル・コローなど</p> <p>第8回 ミレーなど</p> <p>第9回 クールベなど</p> <p>第10回 バルビゾン派</p> <p>第11回 ラファエル前派</p> <p>第12回 マネなど</p> <p>第13回 モネなど</p> <p>第14回 ルノワールなど</p> <p>第15回 まとめ</p>	☑
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	【自学自習のためのアドバイス】日常的に美術に親しむ機会を増やすため、美術館に頻繁に訪れ、また、テレビ・インターネットなどのメディアでできるだけ多くの美術作品に触れることが望ましい。	☑
28. 成績評価の方法 と基準	授業の途中で何回か課題として出すテーマに関するレポートにより評価する	☑
29. 再試験の有無	再試験はしない	☑
30. 受講の条件／先行科目 ／受講人数制限	受講人数制限：なし	☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業中の質疑応答に積極的に参加してください。提出物の締切は厳守してください	☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	なし		<input checked="" type="checkbox"/>
33. 教科書・参考書に関する補足情報	なし		<input checked="" type="checkbox"/>
34. Webテキスト(URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html		<input checked="" type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目 なし	<input checked="" type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	前期火曜日昼休み	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	月曜日から金曜日の午前9時～午後5時の間のメールに、随時対応する	<input checked="" type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	ogawa@naruto-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	ogawa@naruto-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	該当せず		<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	非対応		<input checked="" type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし		<input checked="" type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド・遠隔・対面	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 美術教育の未来を考える (英文名) Think of the future of art education				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 山田 芳明 (ローマ字) YAMADA Yoshiaki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	学部1年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1年次生	
16. 曜日・時限	対面授業は冬期集中講義期間。 オンデマンド遠隔授業は曜日・時限は 関係なし。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	グローバル, インクルーシブ, ギガスクール,				
21. 授業概要	我が国の美術教育の中心的価値は創造性や感性に根ざした教育にある。本授業ではそうした伝統的な美術教育がどのように変遷し、グローバルな視点から美術教育がどのように位置づけ可能なのか、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization(UNESCO)やInternational Society for Education through Art(InSEA=国際美術教育学会)といった国際機関の指標に沿って理解する。また21世紀型の能力などの汎用的能力や、SDGsに沿ったインクルーシブ教育など現代の美術教育に求められる諸般の項目について紹介し、実際の教育現場での事例に学ぶ。また、教育現場でどのようにテクノロジーを美術教育に活用可能なのか、上記のグローバルな視点を踏まえ、実際の現場教員や支援企業などからワークショップ形式で学び教育現場での即戦力として活用可能なスキルを身につける。以上を通して日本国の美術教育を省察的に学び、				



	どのように進展すべきか授業実践者とともに考え、美術教育の未来を担う実践的な知識およびスキルを身につけ、持続的に学び続ける姿勢とノウハウを体得する	
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	本授業ではそうした伝統的な美術教育がどのように変遷し、グローバルな視点から美術教育がどのように位置づけ可能なのか、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO) や International Society for Education through Art (InSEA=国際美術教育学会) といった国際機関の指標に沿って理解することから、学生が美術教育の未来について展望し、考察することを目的としている。	<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> ・美術教育に求められる変化をグローバルな視点から眺望しその教育的意義と可能性を理解する。 ・SDGsなどの国際的目標においてどのように美術教育が寄与可能なのか、特にインクルーシブ教育の観点からその役割を理解する。 ・美術教育におけるテクノロジーの利活用や求められる汎用的能力の育成といった副次的な役割を理解する。 	<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）		
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回： イントロダクション：これまでの美術教育とこれから（オンライン同時双方向）</p> <p>第2回： InSEAは何をしてきたのか？今求められる美術教育の変化（オンデマンド）</p> <p>第3回： 持続可能な社会とグローバルアートエデュケーション（オンデマンド）</p> <p>第4回： 世界の潮流からみる美術教育のこれから（オンデマンド）</p> <p>第5回： 持続可能な社会とインクルーシブ教育（対面集中）</p> <p>第6回： インクルーシブ教育の最前線（対面集中）</p> <p>第7回： インクルーシブ教育と美術教育1（対面集中）</p> <p>第8回： インクルーシブ教育と美術教育2（対面集中）</p> <p>第9回： 美術教育の未来を考える- AIと美術教育（オンデマンド）</p> <p>第10回： 美術教育の未来を考える- 求められる資質能力（オンデマンド）</p> <p>第11回： これからの美術教育を担うために：自ら考え未来をつくる教師になるために（オンデマンド）</p> <p>第12回： 美術教育とテクノロジー：ギガスクールの現場から1（デジタル端末に触れる）（オンライン同時双方向）</p> <p>第13回： 美術教育とテクノロジー：ギガスクールの現場から2（アプリケーションを知る）（オンライン同時双方向）</p> <p>第14回： 美術教育とテクノロジー：ギガスクールの現場から3（制作ツールを知る）（オンライン同時双方向）</p> <p>第15回： 総括とまとめ（レポート作成とフィードバック）（オンライン同時双方向）</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>事前学習として30時間、事後学習として30時間</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p>	<input type="checkbox"/>

	事前学習としての各課題に沿って、Web等による情報収集。 課題への取り組み。 事後学習としての、各課題の学習の発展としての文献検索と精読等																																																						
28. 成績評価の方法と基準	毎授業のレポート40% 最終レポート 60%の成績を総合的に評価します。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
29. 再試験の有無	再試験は行わない。			<input type="checkbox"/>																																																			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし			<input type="checkbox"/>																																																			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。			<input type="checkbox"/>																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input checked="" type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">美術教育ハンドブック</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>978-4883034529</td> <td>著者名</td> <td>神林 恒道 ふじえみつる</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>三元社</td> <td>出版年</td> <td>2018</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2860</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">視覚障害のためのインクルーシブアート学習 基礎理論と教材開発</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>978-4-86371-594-3</td> <td>著者名</td> <td>茂木一司, 大内進, 他</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>株式会社ジアース教育 新社</td> <td>出版年</td> <td>2021</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>3520</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名	美術教育ハンドブック			ISBN	978-4883034529	著者名	神林 恒道 ふじえみつる	出版社	三元社	出版年	2018	金額	2860	備考		参考書2	書名	視覚障害のためのインクルーシブアート学習 基礎理論と教材開発			ISBN	978-4-86371-594-3	著者名	茂木一司, 大内進, 他	出版社	株式会社ジアース教育 新社	出版年	2021	金額	3520	備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名	美術教育ハンドブック																																																					
	ISBN	978-4883034529	著者名		神林 恒道 ふじえみつる																																																		
	出版社	三元社	出版年		2018																																																		
	金額	2860	備考																																																				
参考書2	書名	視覚障害のためのインクルーシブアート学習 基礎理論と教材開発																																																					
	ISBN	978-4-86371-594-3	著者名	茂木一司, 大内進, 他																																																			
	出版社	株式会社ジアース教育 新社	出版年	2021																																																			
	金額	3520	備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html			<input type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	なし	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			

38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー:毎週水曜5限目。または、電子メール(yyamada@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	オフィスアワー:特に設けない。電子メール(yyamada@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input checked="" type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	yyamada@naruto-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	yyamada@naruto-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	該当せず		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	非対応		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし		<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド遠隔、双方向型遠隔	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 20世紀の美術理論と現在 (英文名) 20th Century Art Theory and the Present				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)吉川暢子 (ローマ字) YOSHIKAWA Nobuko				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	学部2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンド遠隔は曜日・時限関係なし 双方向型遠隔は金曜5限(16:30～ 18:00)1回目及び15回目		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	美術教育の未来を考 える 先端芸術表現論	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	Cbf
	連携大学 学生向け	美術教育の未来を考 える 先端芸術表現論		連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)美術教育(2)基盤的理論(3)学説 (1) Art Education(2) Fundamental Theory of Art(3) Theory of Art				
21. 授業概要	我が国の美術教育の中心的価値である創造性や感性に根ざした教育を中心的価値に据え置き、本授業ではまず、チゼック、ローウェンフェルド、リードといった美術教育の基盤となる理論発展の歴史を知る。また、20世紀初頭から現代までの主たる教育原理がどのように美術教育に生かされるのかその基盤を美術教育の観点から理解する。その上で21世紀の最新の美術教育理論研究や最新の学術成果の調査方法に触れ、継続的に美術教育実践者として教育理論を学びつづける姿勢や方法論を身につける。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	美術教育における基盤的理論の理解を本授業の礎とした上で、最先端の美術教育研究を学ぶ手続きや研究の現場に学び、将来にわたって持続的に調査研究し教育現場においても最新の学説を学び続ける姿勢を獲得する。				<input type="checkbox"/>

23. 授業の到達目標 ／学修課題	<p>1、美術教育のさまざまな学説から今日的な課題設定をすることができる</p> <p>2、美術教育の基礎的な理論や教育原理から設定した内容に関連した先行研究を参照することができる</p> <p>3、美術教育の課題に対して自学自習をすることができる</p>	□
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回:イントロダクション</p> <p>第2回:美術教育ってなぜ必要なのですか?</p> <p>第3回:第二次世界大戦の前後の美術教育・子どもの発見と発達段階そして芸術による人間形成へ</p> <p>第4回:経験と教育 1:デューイなど経験に関わる理論</p> <p>第5回:経験と教育 2:美術教育から鑑みるデューイなどの経験論</p> <p>第6回:モンティソーリとエリクソン メルロー=ポンティ</p> <p>第7回:認知の発達と他者/社会との関わり:メルロー=ポンティやピアジェ:ヴァイゴツキー</p> <p>第8回:他者/社会との関わりー抑圧から対話と民主主義的教育を考える: フレイレ</p> <p>第9回:映像表現と美術教育:ドゥルーズ</p> <p>第10回:社会との接点:歴史・分析・批評、美学、制作-アイズナー</p> <p>第11回:多重知性から考える子どもの多様性:ガードナー</p> <p>第12回:美術教育研究の最前線1-Arts Based Research などー</p> <p>第13回:美術教育研究の最前線2 認知科学から考える美術教育</p> <p>第14回:最新の美術教育は何をあたえる教育なのか?ディスカッション</p> <p>第15回:振り返りとまとめレポート作成</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画を視聴するだけでなく、各授業で取り扱う教育論や人名などについて調べる。 ・動画で紹介された文献などを読み、理解を深める。 ・自分なりの意見が述べられるように準備する。 ・課題について小レポートを作成する。 	□
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	<p>講義・90分 × 15回 + 自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画を視聴するだけでなく、各授業で取り扱う教育論や人名などについて調べる。 ・動画で紹介された文献などを読み、理解を深める。 ・自分なりの意見が述べられるように準備する。 ・課題について小レポートを作成する。 	□
28. 成績評価の方法 と基準	授業時の小レポート80% 最終レポート20%	□

29. 再試験の有無	なし			<input type="checkbox"/>		
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし ※制限ありの場合、10名以上で設定			<input type="checkbox"/>		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	第1回目、第14回目、第15回目はZoomなどを使い、オンラインで行います。オンラインは金曜日5限で行います。日程についてはメール等でお知らせします。			<input type="checkbox"/>		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	美術科教育の基礎		<input type="checkbox"/>	
		ISBN	978-4767921358	著者名		福田隆真 福本謹一
		出版社	建帛社	出版年		2024
		金額	2860	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	必要な資料等は授業時に配布する		<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし			<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー:毎週木曜昼休み。または、電子メール(yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。		<input type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	オフィスアワー:特に設けない。電子メール(yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。		<input type="checkbox"/>		
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp		<input type="checkbox"/>		

	連携大学 学生向け	yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験 について	芸術士や高等学校等での実務経験をもとに、美術教育を実施する基本的専門能力について多様な分野から講義を行う。		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	なし		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	連携教職課程－美術のHP (https://www.renkeikyoshoku-art.com)には授業の情報等が記載されています。		<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期集中	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	徳島大学総合科学部		4. 授業形態／授業種 別	対面・オンデマンド	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)美術科教材開発実践研究 (英文名) Material Development Practical Studies in Art Education				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)佐原理、山田芳明、吉川暢子 (ローマ字) SAHARA Osamu・YAMADA Yoshiaki・YOSHIKAWA Nobuko				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分	必修	
14. 対象学生	学部3年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	集中 11.12月の休日の2日間		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け		19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	
	連携大学 学生向け			連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	美術教育、教材開発、実践指導、指導案組み立て				
21. 授業概要	我が国の美術教育の中心的価値である創造性や感性に根ざした教育をどのような観点から構築可能な のか、美術科における教材開発実践の視点から経験的知識を体得したい。そこで、実際の教育現場 ですぐに授業設計が可能となるための教材開発の知識を深め、教育現場を模して指導案を組み立て、 模擬授業ができるように以下の事業計画に沿って美術教育の実践研究を行う。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	中学校および高等学校学習指導要領美術を中心に美術教育の役割について理解し教材開発が可能な 知識および技術を獲得する。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	中学校および高等学校学習指導要領美術を中心に美術教育の役割について理解し教材開発が可能な 知識および技術を獲得できる。				☑

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 美術教育はなぜ必要か？美術教育の現場から</p> <p>第2回 教材開発の専門性と実際—実際の教育現場で求められる教材開発</p> <p>第3回 教材開発の専門性と実際—学習指導要領から見る教材開発</p> <p>第4回 教材開発の専門性と実際—事例にふれる教材開発アートの現場から1事例紹介</p> <p>第5回 教材開発の専門性と実際—事例にふれる教材開発アートの現場から2ワークショップ</p> <p>第6回 教材開発をしてみよう1(ICTサポート:遠隔でアイデアをまとめる方法論)</p> <p>第7回 教材開発をしてみよう 2(教育効果に合わせた教材開発)</p> <p>第8回 教材開発内容の発表とフィードバック—まとめ</p> <p>第9回 開発教材による授業設計をする1(具体的な授業運営を考える)</p> <p>第10回 開発教材による授業設計をする2(必要な素材や教室づくり)</p> <p>第11回 開発教材による模擬授業準備(授業運用をサポートするICTの活用)</p> <p>第12回 模擬授業発表1(香川大学学生発表)</p> <p>第13回 模擬授業発表2(鳴門教育大学発表)</p> <p>第14回 模擬授業発表3(徳島大学発表)</p> <p>第15回 模擬授業発表と振り返り</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	【自学自習のためのアドバイス】	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	授業毎小レポート(20%)、指導案作成課題(40%)、最終レポート(40%)	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	徳島大学開講連携教職課程の科目です。美術教育の教職課程を履修する方が履修できる科目として位置付けられています。隔年開講科目です(2026年度開講)。	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☑																																																																																																						
教科書1	書名																																																																																																																								
	ISBN			著者名																																																																																																																					
	出版社			出版年																																																																																																																					
	金額		備考																																																																																																																						
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">文部科学省中学校学習指導要領(平成29年告示)解説美術編</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">文部科学省高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説美術編</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3">美術科教育の基礎知識</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>福田隆眞, 茂木一司, 福本謹一</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>建帛社</td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書4</td> <td>書名</td> <td colspan="3">中学校美術の授業がもっとうまくなる50の技</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>山崎正明</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>明治図書出版</td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書5</td> <td>書名</td> <td colspan="3">ルーブリックで変わる美術鑑賞</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>新関伸也 他</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>三元社</td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書6</td> <td>書名</td> <td colspan="3">美術教育ハンドブック</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>三元社</td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書7</td> <td>書名</td> <td colspan="3">アート学習ハンドブック</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>9784911449325</td> <td>著者名</td> <td>茂木一司, 郡司明子, 手塚千尋, 池田吏志, 笠原広一</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>学術研究出版</td> <td>出版年</td> <td>2025</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	参考書1	書名	文部科学省中学校学習指導要領(平成29年告示)解説美術編			ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名	文部科学省高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説美術編			ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名	美術科教育の基礎知識			ISBN		著者名	福田隆眞, 茂木一司, 福本謹一	出版社	建帛社	出版年		金額		備考		参考書4	書名	中学校美術の授業がもっとうまくなる50の技			ISBN		著者名	山崎正明	出版社	明治図書出版	出版年		金額		備考		参考書5	書名	ルーブリックで変わる美術鑑賞			ISBN		著者名	新関伸也 他	出版社	三元社	出版年		金額		備考		参考書6	書名	美術教育ハンドブック			ISBN		著者名		出版社	三元社	出版年		金額		備考		参考書7	書名	アート学習ハンドブック			ISBN	9784911449325	著者名	茂木一司, 郡司明子, 手塚千尋, 池田吏志, 笠原広一	出版社	学術研究出版	出版年	2025	金額		備考		☑
参考書1	書名		文部科学省中学校学習指導要領(平成29年告示)解説美術編																																																																																																																						
	ISBN			著者名																																																																																																																					
	出版社			出版年																																																																																																																					
	金額		備考																																																																																																																						
参考書2	書名	文部科学省高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説美術編																																																																																																																							
	ISBN		著者名																																																																																																																						
	出版社		出版年																																																																																																																						
	金額		備考																																																																																																																						
参考書3	書名	美術科教育の基礎知識																																																																																																																							
	ISBN		著者名	福田隆眞, 茂木一司, 福本謹一																																																																																																																					
	出版社	建帛社	出版年																																																																																																																						
	金額		備考																																																																																																																						
参考書4	書名	中学校美術の授業がもっとうまくなる50の技																																																																																																																							
	ISBN		著者名	山崎正明																																																																																																																					
	出版社	明治図書出版	出版年																																																																																																																						
	金額		備考																																																																																																																						
参考書5	書名	ルーブリックで変わる美術鑑賞																																																																																																																							
	ISBN		著者名	新関伸也 他																																																																																																																					
	出版社	三元社	出版年																																																																																																																						
	金額		備考																																																																																																																						
参考書6	書名	美術教育ハンドブック																																																																																																																							
	ISBN		著者名																																																																																																																						
	出版社	三元社	出版年																																																																																																																						
	金額		備考																																																																																																																						
参考書7	書名	アート学習ハンドブック																																																																																																																							
	ISBN	9784911449325	著者名	茂木一司, 郡司明子, 手塚千尋, 池田吏志, 笠原広一																																																																																																																					
	出版社	学術研究出版	出版年	2025																																																																																																																					
	金額		備考																																																																																																																						
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html</p>	☑																																																																																																																							

35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	教職	<input checked="" type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け			<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	sahara.osamu@tokushima-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	なし			<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	なし			<input type="checkbox"/>
42. その他／備考				<input type="checkbox"/>